

# フィルターエレメント取替要領

[CN. TN. AN. UN. HN型]

## 1. 型番表示及び、対応表

フィルタ型式	エレメントNo.		外観
	型式-番号		
CN型 (セパレータフィルタ)	E 9	* *	[金網メッシュ 網目大]
TN型 (ラインフィルタ)	E 7	* *	[金網メッシュ網目細]
AN型 (オイルリムバルフィルタ)	E 5	* *	[スポンジ巻 橙 又は赤]
UN型 (ウルトラフィルタ)	E 3	* *	[スポンジ巻 青色]
HN型 (オイルパルバルフィルタ)	E 1	* *	[スポンジ巻 緑色]

## 2. エレメント取替えに際して・・・[交換時期・その他]

1) エレメント型式 E9, E7, E5, E3

- a: エレメント全体を交換して下さい。
- b: 初期時(乾燥状態)に於いて圧力降下は0.007MPa(0.07kgf/cm<sup>2</sup>)から0.014MPa(0.14 kgf/cm<sup>2</sup>)です。
- c: 作動時の圧力降下はフィルタに液体が溜まってくるにつれ、圧力降下が0.014~0.042MPa(0.14~0.42kgf/cm<sup>2</sup>)に大きくなります。エレメントに固形粒子が溜まるとさらに圧力降下が大きくなります。

\*フィルタの濾過効率を最大にする為に、圧力降下が0.07MPa(0.7 kgf/cm<sup>2</sup>・インジケータの赤の領域)に達するか、又は、1年に1度は、エレメントを交換して下さい。

2) エレメント型式 E 1.

- a: エレメント全体を交換して下さい。
- b: エレメント形式E1の吸着能力は定格容量で1000時間です。
- c: このエレメントの場合は、フィルタの下流側に臭気がしたら エレメントの寿命ですので交換して下さい。

[注-1] 流れが止まってから再度、流れ出した場合、圧力降下が一時的に大きくなる場合がありますが、この場合一時間以内に回復します。

[注-2] エレメント型式E5とE3は通常の作動中、オイルがフォームスリーブの底に溜まります。オイルがエレメントの上の方まで付着する場合は、液体の蓄積が早すぎて排出できていないと言う事になります。よってこのような場合は、上流側に、プレフィルタを取付けて下さい。

## 3. エレメント交換の方法

○このフィルタは圧力装置です。交換作業の前には必ず圧力を抜いて下さい。分解前に圧力を抜いていないと、ケースが飛び出したりして機器の破損や、事故につながりますので必ず実施して下さい。

[手順]

1. フィルタの入口、出口を閉じて、エア供給を止める。
2. マニュアルレバルをゆっくり開けることによって圧力を抜く。
3. ケースを外す。
  - a. 配管口径10~25A(ハウジング 型式06~5)まではワッチ式取り付けになっています。この場合は ケースを押し上げ、左方向に1/8回してから、真っ直ぐ下に引き抜いて下さい。
  - b. 配管口径25~65A(ハウジング 型式8~23)まではネジ式ケースです。手、又はレンチかCスパーナーでケースとヘッド部をつないでいるボルトを緩めて下さい。
4. フィルタケースを洗浄する。

5. エレメントを交換する。

a. エレメント全体を交換する

- 1) 古いエレメントを抜き取り捨てる。
- 2) 新しいエレメントの上部にOリングがきちんと入っている事を確認し、フィルタヘッドにエレメントを押しつけて下さい。

注)エレメントは、ホトムキャップだけを持って交換して下さい。外側のフォームパルを持って交換作業はしないで下さい。

6. Oリングがケース内部の上に入り込んでいる事を(ワッチ取付けの場合のヘッドや、波パネも)確認してから、ケースとヘッドを組み立てて下さい。

[注-1]Oリングに潤滑油が付いている事を確認して下さい。(付属のグリスを使用して下さい。)

[注-2]組立時の邪魔にならない様に、波パネの端が下向きになっている事を確認して下さい。

[注-3]ネジが切られたケースをヘッドに接続する場合は、潤滑油をネジ部分に付けて締付けて下さい。(付属のグリスを使用して下さい。)